

1. 学校を核としたまちづくりの推進

■ 第3次基本構想・基本計画 <令和6年3月策定>

令和5年度に策定した市の最上位計画である第3次基本構想・基本計画(第3次総合計画)では、令和6年度から令和15年度までの10年間の目指すべき将来像を描き、その実現に向けたまちづくりの方向性を示している。

その中で、計画を推進するための基本的な考え方の一つとして「エリア(圏域)における取組の推進(学校を核としたまちづくり)」を整理した。

■ 行政サービス機能の展開

「学校が地域のキーステーション」であるとの認識のもと、学校施設に身近な相談窓口を設置し、行政サービス機能を展開する。

学校では、地域の方々にとって身近な相談窓口や、会議・集会・文化芸術活動等の様々な活動が可能な交流スペースを設置する。

■ 地域のキーステーションとしての整備

複合化等と合わせて5つの行政サービス機能を展開できる地域のキーステーション(核施設)として整備する。

- 相談機能の強化 ⇒ 身近な相談窓口
- コーディネート機能の充実 ⇒ 地域福祉コーディネーター、交流スペース
- 年齢を問わない居場所の確保 ⇒ 交流スペース、複合施設、学校施設地域利用
- 社会参加の創出 ⇒ 交流スペース、複合施設、学校施設地域利用
- 健康づくり(運動)の推進 ⇒ 交流スペース、複合施設、学校施設地域利用

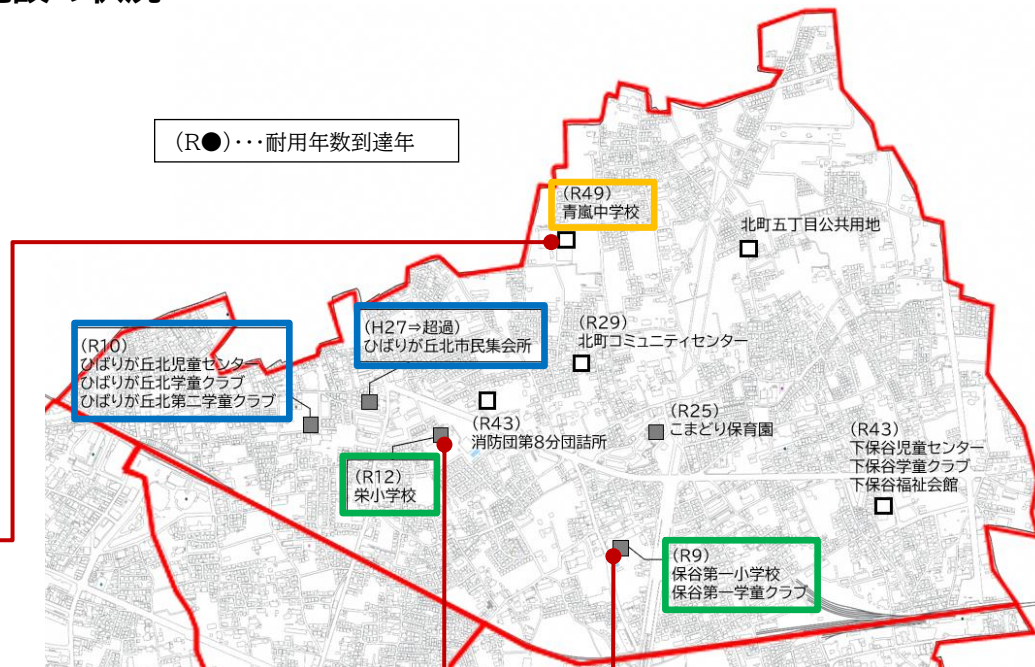
2. 青嵐中エリアにおける公共施設の現状と方向性①

<青嵐中エリアにおける公共施設の状況>

■ 青嵐中学校

2007年(平成19年)に建築され、敷地面積は18,365㎡で市立小中学校の中で一番広い敷地を有する。

敷地の南側に都市計画道路西東京3-3-14号線が通じている。



■ 栄小学校

1970年(昭和45年)に建築され、敷地面積は10,180㎡で敷地の北側に都市計画道路西東京3-4-13号線が通じている。



■ 保谷第一小学校

1967年(昭和42年)に建築され、敷地面積は11,767㎡で敷地の東側に都市計画道路西東京3-2-6号線が通じている。



<施設分野ごとの適正配置の状況>

施設分野	適正配置状況
市民交流施設	保一小:0(空白) 栄小:2施設(重複)
児童館	2施設(重複)
基幹型保育園	0(空白)
福祉会館等	1施設(適正)
行政相談機能	なし

(1) 再編優先検討施設

再編優先検討施設ひばりが丘北市民集会所、ひばりが丘北児童センター、ひばりが丘北学童クラブ・北第二学童クラブについては、栄小学校通学区の施設であることから、栄小学校の更新と併せて、改めて検討する。

(2) エリア(圏域)における取組の推進

相談窓口の整備に当たっては、交流スペース、学習スペース等を設け、人が集まる仕組みづくりを検討する。

また、身近な相談窓口の設置に伴い、高齢者相談機能(地域包括支援センター)についても、合わせて整備する。

(3) 基幹型保育園の検討

基幹型保育園の空白対応について、現状のこまどり保育園において地域子育て支援センターの運用を検討していく。

3. 青嵐中エリアにおける公共施設の現状と方向性②

施設名		建築年	耐用年限	築年数	残存年数	既存延床面積	併設施設	所有形態	用途地域	再編優先検討	学校との複合化等効果	保谷一小複合化等	栄小複合化等	備考
★	青嵐中学校	2007	2067	19	41	13,290.80								
★	保谷第一小学校	1967	2027	59	1	6,105.16	保谷第一学童クラブ			●				
★	栄小学校	1970	2030	56	4	5,365.55		一部借地		●				
1	保谷第一学童クラブ	1967	2027	59	1	122.00	保谷第一小学校		●	●	●	○		主に保谷一小児童
2	下保谷学童クラブ	2011	2061	15	35	142.10	下保谷児童センター、下保谷福祉会館		●		●	○		主に保谷一小児童
3	ひばりが丘北・北第二学童クラブ	1978	2028	48	2	138.00	ひばりが丘北児童センター		●	●	●		○	主に栄小児童
4	ひばりが丘北児童センター	1978	2028	48	2	512.85	ひばりが丘北・北第二学童クラブ		●	●	●		△	栄小通学区域
5	ひばりが丘北市民集会所	1985	2015	41	9	111.81		借地借家	●	●	●		○	栄小通学区域
6	こまどり保育園	1993	※	33	※	500.85	都営住宅	借地借家	●		●			大規模改修を予定
7	(地域子育て支援センター)	—							●		●		※	今後、こまどり保育園で運用 栄小建替え時に改めて検討
8	下保谷児童センター	2011	2061	15	35	2,027.72	下保谷学童クラブ、下保谷福祉会館		●		●			
9	下保谷福祉会館	2011	2061	15	35	1,018.85	下保谷児童センター、下保谷学童クラブ		●					
10	北町コミュニティセンター	1997	2047	29	21	456.16			●		●			栄小学校通学区域
11	消防団第8分団詰め所	2011	2061	15	35	95.06		借地	●					
12	相談窓口・交流スペース・包括	—									●	○		用途は建築許可で対応を想定
13	集会所（貸館機能）	—							●		●	○		

4. 青嵐中エリアにおける再編の基本的な考え方

1. 第3次総合計画を踏まえ、青嵐中学校を将来的なエリアの核施設として想定し青嵐中学校の建替えを見据えてエリア構想を検討する。
2. 青嵐中学校の建替え時期が40年以上先と想定することから先行して建替えを迎える保谷第一小学校及び栄小学校において地域のキーステーションとしての機能を確保する。
3. 青嵐中エリアの実情を踏まえ、相談窓口(交流スペース)は学校施設の内、先行して建替えを行う保谷第一小学校に整備し、相談機能の充実を早期に実現しつつ、5つの行政サービス機能を展開する。
4. 基幹型保育園の空白対応は、保谷第一小学校での複合化等が困難であると見込まれ、現在のこまどり保育園において地域子育て支援センターの運用を検討する。
5. 小学校に市民集会所(貸館機能)や居場所を確保することで、地域の様々な人々が集うことによる多世代交流の機会の創出や、学校施設の地域利用とあわせて市民活動の場の充実を図る。
6. 複合化等に当たっては、公共施設等マネジメントの視点から、ライフサイクルコストの縮減を図るため、共有部の共有化等を検討する。

保谷第一小学校の複合化等へ反映

＜保谷第一小学校複合施設の概要＞

施設・機能	既存延床面積	想定必要延床面積	備考
保谷第一小学校	6,105㎡	約8,411㎡	敷地面積:11,767㎡
保谷第一学童クラブ	122㎡	約670㎡	左記必要面積から共用部の縮減を図る
下保谷学童クラブ	142.1㎡		
相談窓口・交流スペース	—	約400㎡	駐車場、駐輪場を有する
地域包括支援センター	28.8㎡	約150㎡	駐車場、駐輪場を有する
集会所(貸館機能)	—	約76㎡	駐輪場を有する
防災備蓄倉庫	47.8㎡	約65㎡	
合 計	約6,446㎡	約9,772㎡	

＜今後について＞

保谷第一小学校学校建替協議会へ報告しつつ、今後の基本計画及び設計において、施設の詳細について引き続き検討を進める。